

特定非営利活動法人 環境リサイクル肉牛協議会 第3回通常総会議事録

- 1. 招集年月日 平成 23 年 5 月 10 日
- 1. 開催場所 ランチョ エルパソ 2F (帯広市西 16 条南 6 番地 13-20)
- 1. 開催日時 平成 23 年 6 月 11 日 午前 11 時
- 1. 会員総数 29 名 (個人 16 名, 団体 13)
- 1. 出席者数 23 名
 - 内訳 議決権者出席 13 名
 - 非議決権者 12 名
 - 委任状出席 13 名

1. 議長ならびに議事録署名人の選任、書記の指名の経過

定刻に至り司会者 嶋村義文氏が開会を宣言し、本日の第3回通常総会は定款所定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、定款の規定により議長には理事長が指名された。議長より挨拶の後、本日の議事経過を議事録にまとめるに当たり、書記および議事録署名人を指名したい旨を述べたところ、満場異議なく賛成があったので、議長は、次の者を書記および議事録署名人に指名した。

書 記：真野純司(株式会社 マルハニチロ畜産)

議事録署名人：光川敬士(芽室町農業協同組合)

議事録署名人：杉本昌仁(地方独立行政法人 北海道立総合研究機構
畜産試験場)

ついで、議案の審議にはいった。

1. 議事の経過の概要及び議案別決議の結果

第1号議案 2010年度 事業報告ならびに決算報告

議長からの要請により 2010年度事業報告について別紙総会議案書に基づき、花房理事から説明がなされた。ホームページの更新回数についての質疑等があり、逐次審議したのち、議長より議案を承認したい旨を諮ったところ異議なく可決された。別紙資料は、2010年度レインボー・パル基金助成対象活動報告書、e-びーふ認定事業に係る資料「コア・フード牛肉通信号外」である。

2010年度収支決算報告

次いで、議長からの要請により別紙資料に基づき 2010年度収支決算の報告が花房理事よりなされた。前年度より繰越金が減少する結果となったが、前年度は機関誌発行がなかったために繰越金が設立時より増えており、2010年度の繰越金額は設立時の学徒ほぼ同額であることが補足説明された。また、第7回シンポジウムの経費は総額 ¥1,007,573 に及んだが北海道肉牛研究会、配合飼料供給安定機構との共同開催で実施

されたため協議会の負担は大きく圧縮されたことなどが説明された。逐次審議したのち、議長からの要請で奈良岡監事から会計監査報告があり、適正な会計処理がなされていることの報告と共に財政状況の厳しさを踏まえ事業収入確保への取り組みの必要性が指摘された。議長より監査報告を承認したい旨を伺ったところ異議なく可決された。別紙資料は、決算書・監査報告・貸借対照表および財産目録である。

第2号議案 2011年度事業計画および予算案

議長からの要請により2011年度事業計画について別紙総会議案書に基づき、花房理事から提案と説明があった。事業計画は定款の事業項目ごとに分類されており、定款5条1-③のモデル事業は2011年度レインボー・パル基金助成と稚内樺岡樺岡ファームと足寄大平牧場からの受託事業として実施する旨の補足説明が嶋村副理事長よりなされた。第8回資源循環型牛肉生産シンポジウムは北海道アンガス牛枝肉共励会および北海道日本短角種牛枝肉共励会の日程に合わせて帯広市内で開催する計画であることなどの説明があった。逐次審議したのち、議長より原案を承認したい旨諮ったところ異議なく可決された。別紙資料は、北海道庁提出用の平成23年度事業計画書と2011年レインボー・パル基金申請書である。

2011年度予算案

議長からの要請により別紙資料に基づき花房理事より2011年度予算案が提案され、レインボー・パル基金助成は2011年度が最後であること、第8回シンポジウムは配合飼料供給安定機構との共同開催が望めない状況等の説明があった。安定的な収入源の確保にe-びーふ認証牛の出荷に対する賦課金制度があるものの、e-びーふ認証が販売価格にプラスの作用をしていない現実から賦課金徴収は難しいことなどの意見が出された。理事長より、前年度よりも更なる緊縮予算になっていることからシンポジウムは開催形態の大幅見直しを行って実施することについて会員の理解と協力が求められた。逐次審議したのち、議長より原案を承認したい旨諮ったところ原案通り可決された。別紙資料は、平成22年度 特定非営利活動にかかる収支予算書である。

第3号議案 役員改選

理事長から現役員の任期は2011年3月31日までであり、2011年は役員改選の時期にあたるため新しい役員候補案の提示がなされた。山本裕介理事は勤務先の異動に伴い退任し、佐藤幸信氏が新理事に就任する他は重任とする案と佐藤幸信氏から就任承諾及び誓約書が得られていることの説明があった。議長からこの新役員の方案を議場に諮ったところ満場一致をもって承認された。

理事長	左 久	重任
副理事長	嶋村 義文	重任
理事	花房 俊一	重任

理事	榛澤 保彦	重任
理事	山本 裕介	退任
理事	佐藤 幸信	新任
監事	内藤 順介	重任
監事	奈良岡 武任	重任

その他

- ・ 1. 2011 年度第 8 回シンポジウムの開催期日、テーマ、開催形態などについて理事会、幹事会で検討していくこと、事務局はアイデアを会員からも募っているという要請があった。
- ・ 2. ミカン缶詰のシロップ残渣を飼料利用する可能性についての意見交換があった。

以上をもって第 2 回通常総会の議案全部の審議を終了したので、議長は閉会を宣言し 12 時 10 分に散会した。

上記の議決を明確にするため、議長および議事録署名人において次に記名押印する。

平成 22 年 6 月 15 日

特定非営利活動法人 環境リサイクル肉牛協議会 通常総会において

帯広市大空町 7 丁目 14 番地 2

議 長 左 久 印

上川郡新得町字新得西 5 線 39 番地 1

(地独)北海道総合研究機構 畜産試験場 内

議事録署名人 杉本 昌仁 印

河西郡芽室町西 4 条南 1 丁目 1 番地・JA 芽室町 内

議事録署名人 光川 敬士 印